

=====

[北海道]

H22.9.30

°.°*:.°...°.°*°.°*:.°...°.°*°.°* Andante *°.°*:.°...°.°*°.°*:.°..

Vol.015

～北海道の自殺対策について～

Hokkaido
Government

発行:北海道地域自殺予防情報センター
(北海道立精神保健福祉センター内)

=====

※『Andante: アンダンテ』とは

音楽用語で「ゆっくりと歩くくらいの速さで」という意味があります。他者に合わせるのではなく、自分なりのペースで歩いていきましょう、という意味が込められています。北海道地域自殺予防情報センターでは、皆さんと共に歩いていけるような「Andante」を配信していきたいと考えています。

— 目 次 —

【1】北海道の自殺の現状

◇ 職業別自殺のハイリスク期

【2】様々な自殺対策の取り組み

◇ イギリスにおける自殺対策

【3】お知らせ

◇ こころの電話相談

◇ HP 及び携帯 HP をご覧ください

◇ 相談・支援者のための「自殺予防ゲートキーパー研修」について

【4】編集後記

【1】北海道における自殺の現状

◇ 職業別自殺のハイリスク期 ◇

Vol.12 では、北海道のハイリスク期をとりあげました。では、どんな職業の方が、いつ頃多く亡くなっているのでしょうか。今回は、H21 北海道警察のデータに基づき、職業別にその時期を見ていきたいと思います。

まず、職業を大分類し、職業別の自殺者数が H21 年の総自殺者 1,599 人に占める割合を多い順に挙げると、①無職 859 人(53.7%)②被雇用者・勤め人 481 人(30.1%)③自営・家族従業者 186 人(11.6%)④学生・生徒等 49 人(3.1%)⑤不詳 24 人(1.5%)です。以下に、自殺者の多い月の順に 3 位までの人数を示します。

	1 位	2 位	3 位
無職	4 月(93 人)	5 月・6 月(91 人)	……
被雇用者・勤め人	7 月(53 人)	2 月(47 人)	12 月(42 人)
自営・家族従業者	6 月(23 人)	9 月(21 人)	8 月(19 人)
学生・生徒等	3 月から 12 月まで全ての月で 4 人或いは 5 人(1 月:3 人、2 月:2 人)		

これら職業を更に詳細に分類し、自殺者数と総自殺者 1,599 人に占める割合を、自殺者数 100 人以上の職業について多い順に示すと、①浮浪者・その他 350 人(21.9%)②年金・雇用保険等生活者 286 人(17.9%)③技能工・労務職 143 人(8.9%)④主婦 121 人(7.6%)⑤販売・サービス 107 人(6.7%)⑥失業者 100 人(6.3%)です。以下に①から⑥までの各職業別について、自殺者の多い順に 3 位までの月と人数を示します。(①②④⑥は大分類では無職者に、③⑤は被雇用者・勤め人に分類されます)

	1 位	2 位	3 位
浮浪者・その他	4 月(40 人)	5 月(35 人)	10 月(32 人)
年金・雇用保険生活者	6 月(40 人)	5 月(26 人)	3 月・8 月(25 人)
技能工・労務職	11 月(15 人)	2 月・7 月(14 人)	……
主婦	5 月(17 人)	6 月(15 人)	8 月・10 月(13 人)
販売・サービス	12 月(12 人)	1 月・2 月(11 人)	……
失業者	4 月(17 人)	5 月(13 人)	10 月(12 人)

以上から、大分類では無職の方が全体の半数以上を占め 4 月から 6 月に多いことが分かります。詳細分類では、浮浪者・その他と失業者は特に 4 月・5 月に自殺者が多く、販売・サービスでは、12 月から 2 月まで 3 ヶ月連続して多いこと等が分かります。Vol.12 では北海道のハイリスク期は 5 月と 6 月であると述べましたが、6 月に最も自殺者が多いのは年金・雇用保険生活者であることが分かります。また、Vol.12 では女性の自殺が最も多い月が 4 月と 10 月であることも述べましたが、主婦では 5 月に最も自殺者が多いことが分かります。

【2】様々な自殺対策の取り組み

◇ イギリスにおける自殺対策 ◇

イギリスでは 2002 年から国家自殺予防戦略を開始しています。その目標は、①自殺のハイリスク群のリスク軽減、②より広い群の精神的安定の増進、③自殺手段への介入、④メディアの自殺報道の改善、⑤自殺と自殺予防の調査研究の促進、⑥進捗状況のモニタリングの改善です。目標値としては、1995 年からの 3 年間の平均自殺死亡率(10 万人あたりの自殺者数)9.2 を、2009 年からの 3 年間に 20%減少させ、7.3 にすることとしています。

自殺手段への対策としては、精神科病棟や刑務所における精神保健サービスの質の向上と危険な場所の除去、特定の医薬品の箱の縮小・発売禁止、自殺多発地点での対策に取り組むとともに、自殺の場所・手段の報道自粛の呼びかけ、自殺予防の研究、情報の迅速化、公開性の改善に取り組まれました。

その結果、2005 年からの 3 年間の平均自殺率は 7.8 となり、基準値から 15.2%減少しました。精神保健福祉サービスの利用者の自殺、精神科入院患者の自殺、刑務所における自殺は減少し、若年男性の自殺死亡率も減少傾向となりました。メディアの報道のあり方は引き続き問題視されています。

イギリスの自殺対策は、国家的レベルで成果を挙げた例として、我が国への研究と活用が期待されています。

(平成 22 年 内閣府 自殺対策白書より抜粋)

【3】お知らせ

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で受け付けています。

月曜日から金曜日	9:00～21:00
土曜日曜祝日(12月29日～1月3日を除く)	10:00～16:00

Tel:0570-064556

※ご相談の電話が集中しますとつながりづらい状態になりますが、ご了承ください。

なお、札幌市民の方は上記番号では接続されませんので、札幌こころのセンター(札幌市精神保健福祉センター)の相談をご利用ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺予防情報センターの HP を設置しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくなるよう心がけています。

また、携帯電話で見られる携帯版 HP も設置しています。うつ病や依存症、借金問題についての知識をはじめ、「死にたい」と相談されたときの対応の方法についての情報を Q&A 形式で紹介しています。ぜひご覧ください。

PC 版 HP URL: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

携帯版 HP URL: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/>

◇ 相談・支援者のための「自殺予防ゲートキーパー研修」について

「自殺予防ゲートキーパー」とは、地域や医療・保健・福祉、労働、教育等、様々な分野における相談支援活動において、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門相談機関へつなぐなどの役割が期待される人材です。今年度は道内 8 ヶ所で開催を企画し、残すところ、10 月の浦河町・江差町、11 月の登別市となりました。詳しくは北海道の HP に、研修案内、申込書等を掲載していますのでご覧ください。また、北海道立精神保健福祉センターの HP からこの HP がご覧になれます。

URL: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/jisatuyobou.htm>

【4】編集後記

9 月 11 日(土)に、これまでお知らせをしてきました、「第 5 回北海道自殺対策フォーラム～大切な人をなくされたあなたへ～」を開催しました。当日はお天気にも恵まれ、250 人というたくさんの方に足を運んでいただくことができました。

フォーラムでは、大切な人をなくされたご家族の体験やお気持ち、自死遺族の支援グループ活動を行っている方のお話を聞くことができ、来場された方々にも多くのことを感じ、また考えていただく機会になったことと思います。

フォーラムの内容などにつきましては、北海道立精神保健福祉センターの機関誌「精神保健福祉ジャーナルほっかいどう No.304」(平成 22 年 12 月発行)でお伝えし、併せてホームページでの掲載も予定しています。

次回 Vol.16 は 2010 年 10 月末に配信予定です。

＊お問い合わせ先＊

北海道立精神保健福祉センター

札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp